

ルポ WOOD COLLECTION 2023 JAPAN ReWOOD開催

東京都は18、20日、東京ビッグサイトで「WOOD COLLECTION 2023 JAPAN ReWOOD」を開いた。今回は「触れて楽しむ木のワンダーランド」をテーマに28都道府県が出展し、木製建材や日用品を提案、販売した。一般消費者向けに木を五感で感じるブースを設け、子ども連れでにぎわった。

開会式で小池百合子東京都知事が「木材の消費地である東京で木材利用が活発になれば、地方の活性化にも繋がる。今回の展示会で多くの人に国産材の良さを知ってほしい」とビデオメッセージを送った。青山豊久林野庁長官が登壇し、「森林循環を確立するには身近な木材利用を喚起していくことが重要になる。木づかい運動を今まで以上に活発化し、木の良さを一般来場者へアピールしていきたい」とあいさつした。

一般消費者向け製品並ぶ
東京都は、多摩産材のブランド「とうきょうの木」を押し出し、多摩産材を使用した家具、什器を展示した。越井木材工業(大阪)



開会式でロゴマークとともに記念撮影する
青山林野庁長官(左から3人目)ら登壇者

「多摩産材の認知度はまだまだ。国産材の需要は高まっているので多摩産材を提案したい」と話す。八王子現代家具工芸学校は多摩産材を使用した家具や食器を出品した。多摩産材30mm厚をカットし、年輪を合わせように加

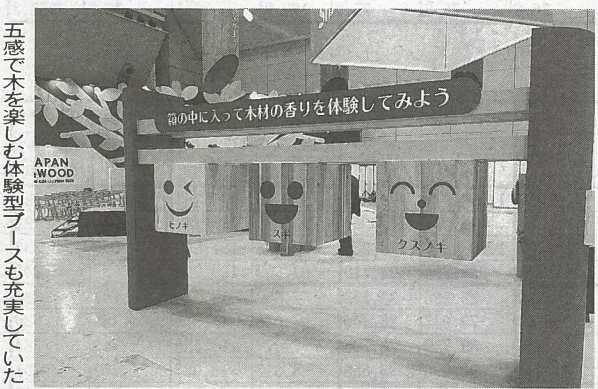
一般消費者に木材利用を喚起

工した食器は多くの来場者の目を引いた。フルタニランバー(石川県金沢市、古谷隆明社長)は、能登ヒバを楽器材として提案するプロジェクト「A T E N O T E (アテノオト)」を出品した。



「とうきょうの木」ブースでは多摩産材を使用した家具や什器が並んだ

今回は能登ヒバ製のベースやハープに加えて三味線を初めて展示した。古谷社長は「今後は楽器奏者にアプローチし、能登ヒバの楽器材への使用をより広げたい」と話した。トーホー(岐阜県加茂郡、藤井実社長)は、製法バレルサウナを出品した。製法バレルサウナはサウナブームもありリゾート施設で引き合いが増えているほか、同社関係者は「経営者が従業員への福利厚生として購入する場合も増えている」と話す。



五感で木を楽しむ体験型ブースも充実していた。わった。

狭小地対応のコンパクト賃貸発売
大東建託
大東建託(東京都、竹内啓社長)は、「DK S E L E C T」ブランドの2階建て賃貸住宅の新商品「NEW D e F I (ニューデフィ)」を1日に発売した。



NEW D e F I (ニューデフィ) 外観イメージ

都市狭小地でも住戸数を確保しやすいシングル向け賃貸住宅だ。戸数のプランは2戸並びの4戸タイプから6戸並びの12戸タイプ。間取りは1階が独立キッチン、1K、2階が2人でも住める1LDKとなっている。建築エリアに合わせて、1Kは洋室、1LDKはLDKを縮小しよりコンパクトな間取りプランを選択可能。間口3.6mの狭小敷地でも対応でき、住戸数の確保と合わせ、土地所有者に収益性の高い賃貸事業提案ができる。施工性についても、凹凸を極力なくすることによって省施工に配慮している。

工法は木造2x4工法で、Z E H O r i e n t e d を標準とする。初年度販売目標は300棟。

オリバー(東京都、大川和昌社長)は4月18、23日にイタリア・ミラノで開催されたミラノデザインウィーク2023の視察レポートをダウンロードし、無料公開した。オリバーはオフィスやホテルなどの空間インテリアの創造企業。展示会視察は毎年行っており、トレンドを捉えた視察レポートを作成している。

今年のキーワードは「幸福」「持続可能性」で、自然環境とつながることでの幸福を追求する「アウトドア」や、ワークライフバランスに配慮する「リビングオフィス」華美にならずに細部にこだわる「クワイエット・ラグジュアリー」などの時代の価値観を捉えたキーワードが多かった。インテリアの仕上げ材についても「ウェルビーイング」「環境責任」に対する問題意識が見られ、インテリアのトーンも「暖かみ」「作り込みすぎないラフさ」「不規則な曲線や丸み」などの穏やかで優しい自然を感じられるテイストがトレンドとなっている。ゆったりとした時間、快適さ、エレガンスが重要な要素となっていると分析している。

首都圏木材小売価格表

名称	樹種・等級	サイズ(長×幅×厚)	単位	埼玉県A社	神奈川県B社
土台	桜(KD)・特等	4尺×120×120 ³	本	9,000	9,500
		4尺×105×105 ³	//	7,000	7,500
桁	米ツガ(注入)	4尺×105×105 ³	//	7,000	6,500
		4尺×105×105 ³	//	6,500	6,000
梁	米松(KD)	4尺×105×240 ³	丁	14,000	13,800
		4尺×105×300 ³	//	18,000	18,000
通し柱	桜・特等(KD)	6尺×120×120 ³	本	-	20,000
管柱	杉(KD)・特等	3尺×105×105 ³	//	4,300	4,200
		3尺×105×105 ³	//	5,000	4,800
母屋・大引き	杉・特等(KD)	4尺×90×90 ³	//	4,500	4,000
		4尺×90×90 ³	//	4,800	4,500
根太	米松(KD)・特等	4尺×45×36 ³	丁	-	-
		3尺×45×36 ³	//	-	-
		4尺×45×45 ³	//	1,800	1,800
		4尺×45×36 ³	//	1,450	1,450
		4尺×45×45 ³	//	1,400	1,350
根大掛	杉・特等	3尺×45×36 ³	//	1,100	1,100
		3尺×45×36 ³	//	1,100	1,100
仮筋違	杉・特等	3.65尺×105×30 ³	//	1,100	1,100
		3.65尺×90×24 ³	//	880	800
筋違	米ツガ(KD)・特等	4尺×105×45 ³	//	2,400	2,300
		4尺×90×45 ³	//	2,200	2,300
		3尺×90×45 ³	//	1,700	1,720
タルキ	Wウッド	4尺×90×45 ³	//	-	1,900
		4尺×72×33 ³	//	1,450	1,400
	アカ松・特等	4尺×40×30 ³	本	850	800

名称	樹種・等級	サイズ(長×幅×厚)	単位	埼玉県A社	神奈川県B社
間柱	Wウッド	3尺×105×27 ³	丁	1,200	1,100
		3尺×105×45 ³	//	1,800	1,750
胴縁	杉(KD)・特等	3尺×105×30 ³	//	1,500	1,450
		3.65尺×45×13 ³	//	240	240
又キ	杉・特等	3.65尺×90×13 ³	枚	360	360
		3.65尺×24×30 ³	本	270	280
小割	杉(役物)	1.82尺×12 ³ (幅込み)	坪	3,000	3,000
		3.65尺×180×24 ³	枚	1,700	1,600
荒床	杉	3.65尺×210×24 ³	//	1,800	1,800
		3.65尺×300×24 ³	//	3,400	3,300
板割	杉・特等	4尺×48×24 ³	本	600	600
		4尺×180×24 ³ (A幅)	m	320,000	300,000
棧木	アカ松・特等	4尺×240×24 ³ (B幅)	//	320,000	320,000
		4尺×240×300 ³ (C幅)	//	320,000	330,000
防虫	ラワン	3×6判 3.0 ³	T1 枚	1,900	1,500
		3×6判 2.5 ³	//	780	750
合板(中厚)		3×6判 4.0 ³	T1 //	1,800	1,600
		3×6判 5.5 ³	T1 //	2,000	1,750
コンパネ	(生・JAS)	3×6判 12 ³	//	2,800	2,800
		3×6判 24 ³	//	4,800	5,200
構造用合板	(針葉樹)	3×6判 12 ³	//	2,400	2,300
		3×6判 9 ³	//	2,100	2,100
石膏ボード		3×6判 9.5 ³	//	500	500
		3×6判 12.5 ³	//	650	650
断熱材	グラスウール	10kg 75 ³	坪	880	900
		3×6判 5 ³	枚	950	950
ケイカル板		3×6判 12 ³	坪	9,000	9,000
		4.2尺×500×25 ³	枚	13,000	13,000
カラーフロア	メルキシ松フリー板	4尺×210×34 ³	m	300,000	420,000
		4尺×240×34 ³	//	400,000	690,000

1mに入替する流れも 24年度は9人がチー ムに入り、一建設に入 手。なかには甲子園経 長、同チームの代表で った背景を語った。 同チームは東京都大 を支援して いく。 菊贈 1は、同区在住の小学 生とその親子12組24人 小学 話した。